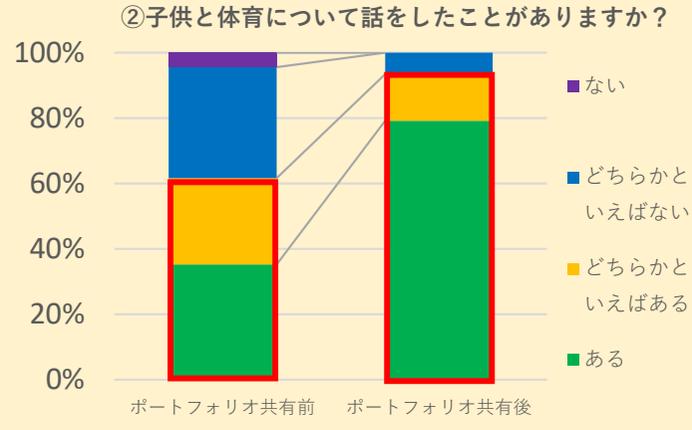
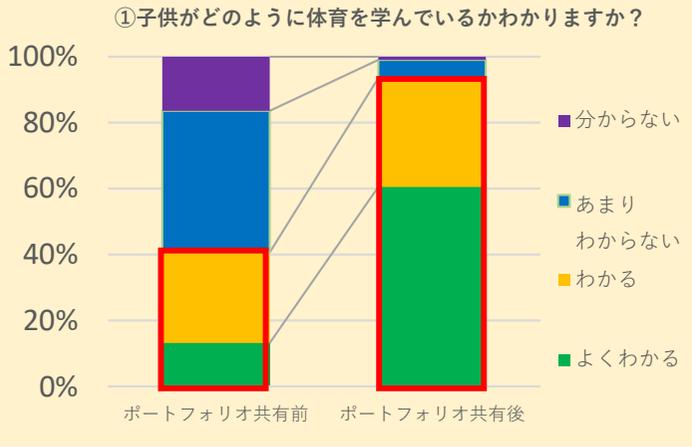


# こんな成果がありました！

「メディアポートフォリオ」を共有する前と後で、保護者に同様のアンケートを実施しました (n=91)。



①のアンケートでは、メディアポートフォリオを共有する前は「わかる」「よくわかる」が40%でした。しかし、共有後は93%に上がりました。また、②のアンケートではポートフォリオを共有することで、子供と保護者が体育での学びの様子を話し合うようになりました。

このようにメディアポートフォリオは子供の学びの様子を分かりやすく伝えることに適しているばかりでなく、子供と保護者をつなぎ、新しいコミュニケーションが創出するきっかけも作りました。

## 「メディアポートフォリオ」とは？

東京学芸大学の鈴木直樹准教授が提唱している、体育におけるポートフォリオ評価のことです。授業中に学習者が発揮したパフォーマンスを動画で撮り溜め、「社会的な相互作用」を大切に視覚的、聴覚的な評価情報の複数データをポートフォリオし、その評価情報を家庭と共有し、学校教育に生かしていく教育性の高い評価法のことです。



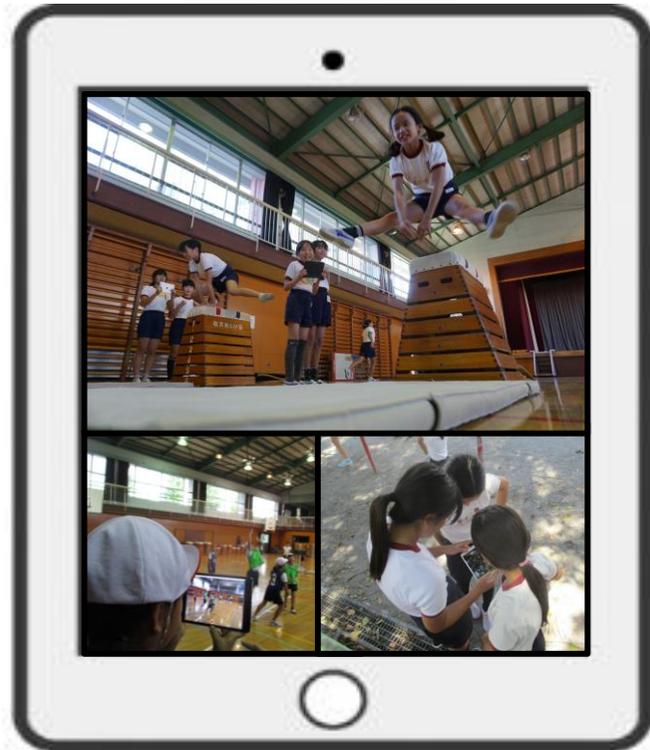
メディアポートフォリオは、評価プロセスに保護者を巻き込み、子供の学びを支援する学校と家庭を一体とした評価法といえます。すなわち、保護者へのアカウントビリティを保証すると同時に、保護者も学習の支援者として教師と子供と協働し、学校教育へ参加をさせていくということです。これらは動画による「視覚情報」や子供とのコミュニケーションによる「社会的な相互作用」が生み出したものです。それは、メディアポートフォリオというICT機器を活用した評価法の、誘発的に保護者を評価行為に参加させる特徴が影響したのです。

**<保護者の感想>**  
 子供に教えてもらいながら一緒に見ました。おのずと競技の説明や目的、個人的に難しかったこと、大変に思ったこと等も会話ができ、体育の授業の様子を伺うことができました。動画がなければ体育の会話自体がなかったと思うのでアドバイスができ、良い機会になりました。

**<保護者の感想>**  
 苦手な水泳や鉄棒ではどうしたら上手にできるかを友達からアドバイスをもらい、実践する事でできるようになった事が多く、ただ身体を動かすだけではなく、コミュニケーションやチームワークも学んでいると思いました。

体育のICTを活用したポートフォリオってどうやるんだろう… その悩みを解決します！

# 体育で実践する メディアポートフォリオ How To ガイド



江戸川区立新田小学校×体育ICT研究会  
令和2年2月

このリーフレットは公益財団法人パナソニック教育財団「2019年度(第45回)実践研究助成」を受けて作成したものです。

## 体育授業でICTを使おう！

### 活動提示場面



私たちの前時は〇〇だったね。だから、今日は〇〇のようにプレーしようよ！

これから行う活動を一齐に提示したり、前時の活動をグループや個人ごとに確認します。

グループごとに前時の活動を見ることで、振り返りの視点が明確になります。その結果、「いまーここ」の課題が立ち上がります。

### 問題解決場面

例えば、ボールゲームでは、撮影する場所を工夫して、「チームに貢献」している場面を撮ります。

撮影した場面を振り返りですぐに見合いながら、「あのとき」の場面を共有して、問題を解決する糸口を見つけます。



ボールを持っていないときに、ボールより前に広がってプレーしようよ！

### 評価場面



この動きはよかったね。次回は〇〇ができるように〇〇をしようよ！

活動を撮影して、その活動を評価します。俯瞰的に自分の動きを見ることで、普段は気付かないことに気がきます。

その評価活動が、次時の活動につながり、学習成果を蓄積する視点を育むことにつながります。

## 学びをアップロードしよう！

### 動画を選択



第1時と第6時のマット運動の組み合わせ技をアップロードしよう！

体育授業で撮りためた運動パフォーマンスを動画や静止画、学習の振り返りの音声記録、ホワイトボードに書き込んだ作戦の記録などがタブレットに蓄積されました。

それらのデータの中から子供が自己評価・相互評価して、親機サーバーにアップロードして毎時間蓄積していきました。

### ポートフォリオ検討会



このプレーはチームに貢献している！ぼくのポートフォリオにいれよう！

昨年度のリレーでは〇〇だった！今年はここを課題としよう

### 学びをつなげる

単元ごとに運動パフォーマンスなどのデータが蓄積されることで、自分が何ができて何ができないかを知ることにつながります。



## おうちに持って帰ろう！

### 学習の過程を家庭と共有



この運動では、〇〇をがんばったんだよ！友達からアドバイスももらったよ！

自らの学習履歴を表現するポートフォリオを、一連の動画として編集し、持ち帰り用のタブレットにデータを移します。そして、それを自宅に持ち帰らせました。これらのICTを活用したポートフォリオと単元ごとの振り返り日記を合わせて「メディアポートフォリオ」としました。家庭内で保護者と共に評価を行う時間を設けました。

### 自分の成長を実感



5年生の水泳運動よりも6年生の水泳運動の方がスムーズに泳げるようになりました。友達へのアドバイスも具体的になり、学び方も上達していることを実感しました！

長期的に学びの軌跡を撮りためたメディアポートフォリオは「過去」の自分と「いま」の自分の学びをもつなげます。

5年生のマット運動と6年生のマット運動では運動パフォーマンスの向上は基より、どのような思考をして運動に取り組んだかという違いまで子供が実感することが出来ます。その学びの過程をパワーポイントでまとめて表現することで、更に成長を実感することができます。